令和８年上半期

消　防　統　計

乙訓消防組合消防本部

令和８年上半期消防統計目次

消防統計の概要 ・・・・・ 1～4

１　火災統計

⑴　火災概要 ・・・・・ 5

⑵　市町別概要 ・・・・・ 6

⑶　出火原因別の火災件数と損害額 ・・・・・ 7

⑷　月別出火状況 ・・・・・ 8

⑸　火災種別損害額 ・・・・・ 8

⑹　覚知方法別出火件数 ・・・・・ 8

⑺　時間帯別出火件数 ・・・・・ 9

⑻　曜日別出火件数 ・・・・・ 9

２　その他災害統計

⑴　その他災害種別の件数 ・・・・・ 10

⑵　市町別その他災害種別の件数 ・・・・・ 10

⑶　覚知方法別件数 ・・・・・ 11

⑷　時間帯別件数 ・・・・・ 11

⑸　曜日別件数 ・・・・・ 12

３　救助統計

⑴　事故種別出場件数及び活動件数 ・・・・・ 13

⑵　市町別出場件数 ・・・・・ 14

⑶　事故種別救出人員 ・・・・・ 15

⑷　発生場所別出場件数及び活動件数 ・・・・・ 16

４　救急統計

⑴　事故種別出場件数及び搬送人員 ・・・・・ 17

⑵　年齢区分別事故種別搬送人員 ・・・・・ 18

⑶　事故種別傷病程度別搬送人員 ・・・・・ 18

⑷　年齢区分別傷病程度別搬送人員 ・・・・・ 19

⑸　傷病程度別搬送人員 ・・・・・ 19

⑹　市町別出場件数 ・・・・・ 20

⑺　消防署別出場件数 ・・・・・ 21

⑻　救急隊員が行った応急処置状況 ・・・・・ 22

消防統計の概要

1　火災統計

⑴　出火状況

ア　令和 8 年上半期の出火件数は 20 件で、前年上半期の 16 件に比べ 4 件増加となっている。火災による死者は 0 人となっており、前年上半期と比べ 2 人の減少となっている。

火災種別では、「建物火災」が 12 件で前年上半期と比べ増減なし、「林野火災」は 0 件で前年上半期と比べ増減なし、「車両火災」は 3 件で前年上半期と比べ 2 件増加し、「その他火災」は 5 件で前年上半期と比べ 2 件増加となっている。

〔１⑴火災概要〕

イ　市町別発生件数では、出火件数 20 件中、「向日市」が 4 件で 20%、「長岡京市」が 13 件で 65%、「大山崎町」が 3 件で 15%となっている。

〔１⑵市町別概要〕

ウ　月別の出火状況は、「3 月」が 6 件で 30%と最も多く、次いで「5 月」、「6 月」が各 4 件で 20%、「4 月」が 3 件で 15%、「1 月」が 2 件で 10%、「2 月」が 1 件で 5%の順となっている。

また、月別の損害額については、「3 月」の 70,287 千円が最も多くなっている。

〔１⑷月別出火状況〕

エ　時間帯別件数は、「14 時～16 時」、が 5 件で最も多く、次いで「20 時～22 時」が 4 件、「8 時～10 時」が 3 件、「2 時～4 時」、「18 時～20 時」が各 2 件、「6 時～8 時」、「10 時～12 時」、「12 時～14 時」、「16 時～18 時」が各 1 件となっている。

〔１⑺時間帯別出火件数〕

オ　曜日別件数は、「水曜日」、「木曜日」、「土曜日」が各 4 件と最も多く、次いで「火曜日」、「金曜日」が各 3 件、「日曜日」、「月曜日」が各 1 件となっている。

〔１⑻曜日別出火件数〕

⑵　出火原因

出火件数 20 件中、「電気機器」が 4 件と最も多く、次いで「不明」、「その他」が各 3 件、「たばこ」、「放火の疑い」が各 2 件、「火あそび」、「こんろ」、「たき火」、「ストーブ」、「溶接機・切断機」、「排気管」が各１件となってい

る。

〔１⑶出火原因別の火災件数と損害額〕

⑶　損害額

ア　損害額は、89,956 千円となっており、前年上半期に比べ 52,050 千円増加している。

〔１⑴火災概要〕

イ　火災種別損害額は、「建物火災」が 87,592 千円で 97.4%となっており、次いで「車両火災」が 1,994 千円で 2.2%、「その他火災」が 370 千円で 0.4%となっている。

〔１⑸火災種別損害額〕

⑷　覚知方法別件数

覚知方法別件数は 20 件中、「火災報知専用電話」（119 番）が 14 件で 70%、次いで「事後聞知」（消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの）が 5 件で 25%、「加入電話（携帯電話から）」が 1 件で 5%となっている。

〔１⑹覚知方法別件数〕

２　その他災害統計

⑴　その他災害の発生件数は 9 件で、前年上半期と比べ 3 件減少している。

災害種別の発生件数は、「交通」が 5 件で 55.5%、次いで「危険物」が 2 件で 22.2%、「ガス・酸欠」と「自然災害」が各 1 件で 11.1%となっている。

〔２⑴その他災害種別の件数〕

⑵　市町別の発生件数は、「向日市」が 6 件、「長岡京市」が 2 件、「大山崎町」は 1 件となっている。

〔２⑵市町別その他災害種別の件数〕

⑶　覚知方法別の発生件数は、「火災報知専用電話（119 番）」が 4 件で 44.4%、「加入電話（固定電話から）」と「その他」が各 2 件で 22.2%、「火災報知専用電話（NTT 加入電話を除く）」が 1 件で 11.1%となっている。

〔２⑶覚知方法別件数〕

⑷　時間帯別の発生件数は、「10 時～12 時」と「16 時～18 時」が各 3 件で、次いで、「6 時～8 時」と「12 時～14 時」、「14 時～16 時」が各１件となっている。

〔２⑷時間帯別件数〕

⑸　曜日別の発生件数は、「日曜日」が 3 件と最も多く、次いで「火曜日」と「金

曜日」が各 2 件、「水曜日」と「土曜日」が各 1 件となっている。

〔２⑸曜日別件数〕

３　救助統計

⑴　出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が 40 件、活動件数は 29 件で前年上半期に比べると出場件数については 4 件の減少、活動件数については前年上半期の 3 件の減少となっている。

〔３⑴事故種別出場件数及び活動件数〕

⑵　市町別件数

出場件数を市町別でみると、「向日市」10 件、「長岡京市」23 件、「大山崎町」4 件、「その他」5 件となっている。

〔３⑵市町別出場件数〕

⑶　救出人員

事故種別救出人員は 28 人で、前年上半期に比べると 1 人減少している。

事故種別の内訳は、「建物等による事故」が 18 人、「その他の事故」と「交通事故」が各 4 人、「火災建物」と「ガス及び酸欠事故」が各 1 人となっている。

〔３⑶事故種別救出人員〕

⑷　発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が 18 件（うち活動あり 18 件）、次いで「その他の道路」が 7 件（うち活動あり 4 件）、「その他の屋外」が 7 件（うち活動あり 2 件）、「その他」が 2 件（うち活動あり 2 件）、「高速道路国道」が 2 件、「山岳」が 1 件となっている。

〔３⑷発生場所別出場件数及び活動件数〕

４　救急統計

⑴　出場件数及び搬送人員

出場件数は 3,877 件で前年上半期に比べ 128 件の減少、搬送人員については 3,628 人で前年上半期に比べ 49 人の減少であり、1 日あたりの出場件数は 21.4 件、搬送人員は 20.0 人となっている。

〔４⑴事故種別出場件数及び搬送人員〕

⑵　事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が 2,550 件で 65.8%、次いで「一般負傷」が 709 件で 18.3%、「交通事故」が 264 件で 6.8%、「その他」が 255 件で 6.6%

となっている。

〔４⑴事故種別出場件数及び搬送人員〕

⑶　年齢区分

ア　年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員2,406人中1,560人が「高齢者」で64.8%、次いで「成人」が642人で26.7%、「乳幼児」が146人で6.0%、「少年」が55人で2.3%、「新生児」が3人で0.1%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

〔４⑵年齢区分別事故種別搬送人員〕

イ　「交通事故」では、搬送人員257人中130人が「成人」で50.6%、次いで「高齢者」が87人で33.9%、「少年」が30人で11.7%、「乳幼児」が10人で3.9%となっている。

〔４⑵年齢区分別事故種別搬送人員〕

ウ　「一般負傷」では、搬送人員676人中502人が「高齢者」で74.3%、次いで「成人」が88人で13.0%、「乳幼児」が58人で8.6%、「少年」が28人で4.1%となっている。

〔４⑵年齢区分別事故種別搬送人員〕

⑷　事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員では、搬送人員3,628人中1,798人が「軽症」で49.6%、次いで「中等症」が1,483人で40.9%、「重症」が307人で8.5%、「死亡」が39人で1.0%となっている。

〔４⑶事故種別傷病程度別搬送人員〕

⑸　市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が1,465件で37.8%、「長岡京市」が2,016件で52.0%、「大山崎町」が368件で9.5%、「乙訓管外」が28件で0.7%となっている。

〔４⑹市町別出場件数〕

⑹　消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が1,282件で33.1%、「長岡京消防署」が1,272件で32.8%、「大山崎消防署」が647件で16.7%、「長岡京消防署東分署」が676件で17.4%となっている。

〔４⑺消防署別出場件数〕

※　本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第２位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

１　火災統計

（１）　火災概要

区分		単位	令和8年上半期	令和7年上半期	増減（△印減）
出火件数	建物		12	12	
	林野				
	車両		3 (1)	1	2 (1)
	その他		5	3	2
	計	件	20 (1)	16	4 (1)
焼損棟数	全焼		5	4	1
	半焼		1	1	
	部分焼		7	2	5
	ぼや		11	7	4
	計	棟	24 (0)	14	10
焼損床面積		㎡	455	354	101
焼損表面積		㎡	139	77	62
林野焼損面積		a			
死者		人		2	△ 2
負傷者		人	2	1	1
り災世帯数	全損		7	5	2
	半損		2		2
	小損		13	13	
	計	世帯	22 (0)	18	4
り災人員		人	61	30	31
損害額	建物		87,592	37,877	49,715
	林野				
	車両		1,994 (1,989)		1,994 (1,989)
	その他		370	29	341
	計	千円	89,956 (1,989)	37,906	52,050 (1,989)
出火率		件／人口1万人	1.2 (0.1)	0.9	0.3 (0.1)

※「死者」には火災により負傷した後、４８時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口１万人当たりの出火件数をいう。

※ ( )内は高速道路の火災を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

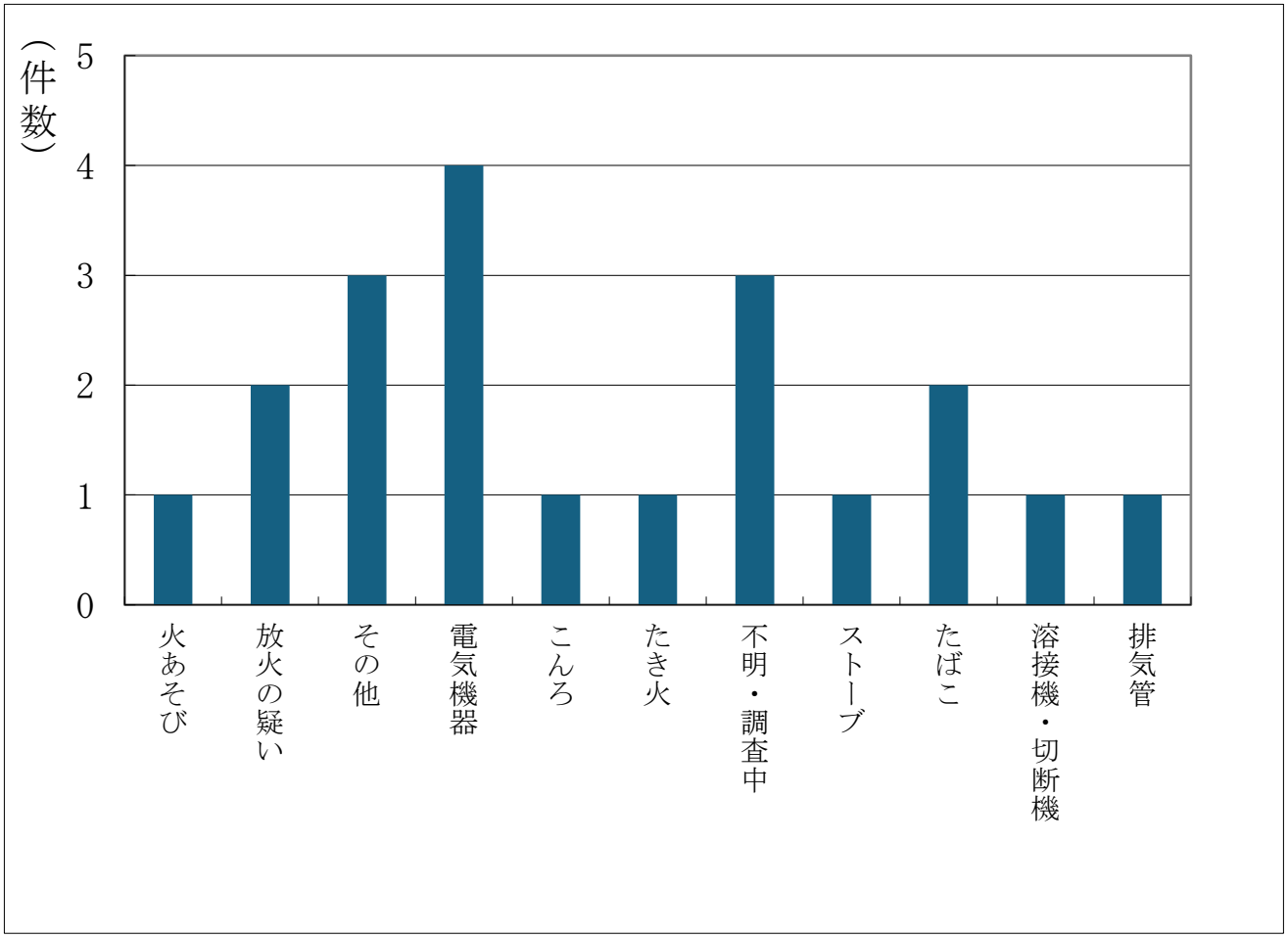
（２）　市町別概要

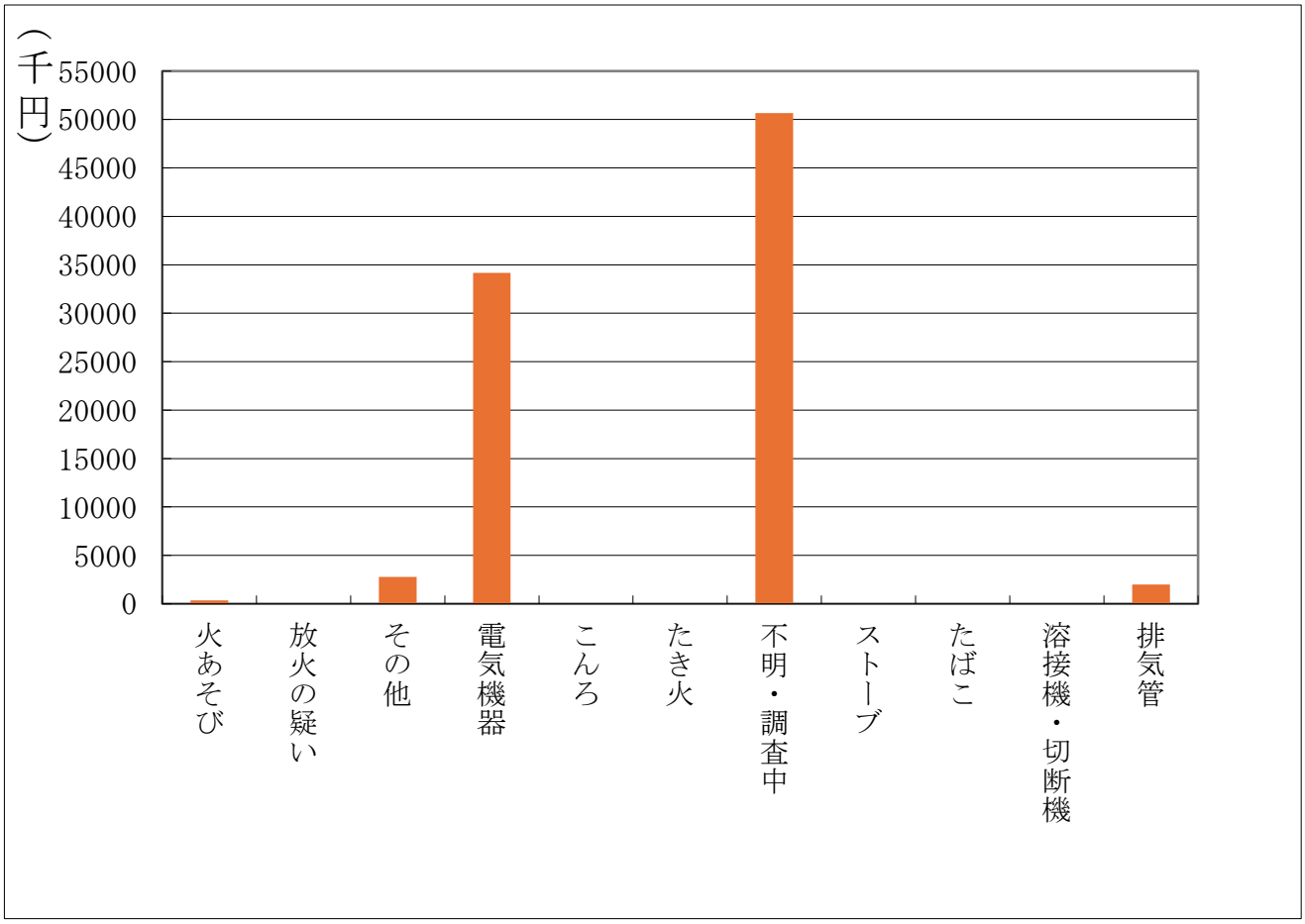
区分		単位	向日市	長岡京市	大山崎町
出火件数	建物		1	10	1
	林野				
	車両		1	1	1 (1)
	その他		2	2	1
	計	件	4 (0)	13 (0)	3 (1)
焼損棟数	全焼			5	
	半焼			1	
	部分焼			6	1
	ぼや		1	10	
	計	棟	1 (0)	22 (0)	1 (0)
焼損床面積		㎡		455	
焼損表面積		㎡		131	8
林野焼損面積		a			
死者		人			
負傷者		人		2	
り災世帯数	全損			7	
	半損			2	
	小損		1	12	
	計	世帯	1 (0)	21 (0)	0 (0)
り災人員		人	2	59	
損害額	建物		2	87386	204
	林野				
	車両		5		1,989 (1,989)
	その他		360	10	
	計	千円	367 (0.0)	87,396 (0.0)	2,193 (1,989.0)

※　「死者」には火災により負傷した後、４８時間以内に死亡した者を含む。

第５号様式（第４条関係）

（３）　出火原因別の火災件数と損害額





（４）　月別出火状況

年 季　別	令和8年上半期			
	出火件数（件）	割　合（%）	損害額(千円)	割　合（%）
1月	2	10.0	370	
2月	1	5.0	4	
3月	6	30.0	70,287	78
4月	3	15.0	17,297	19
5月	4	20.0	3	
6月	4	20.0	1,995	2
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
不明				
合　　計	20	100	89,956	100

（注）冬季の１，２月は、該当年のものとする

（５）　火災種別損害額

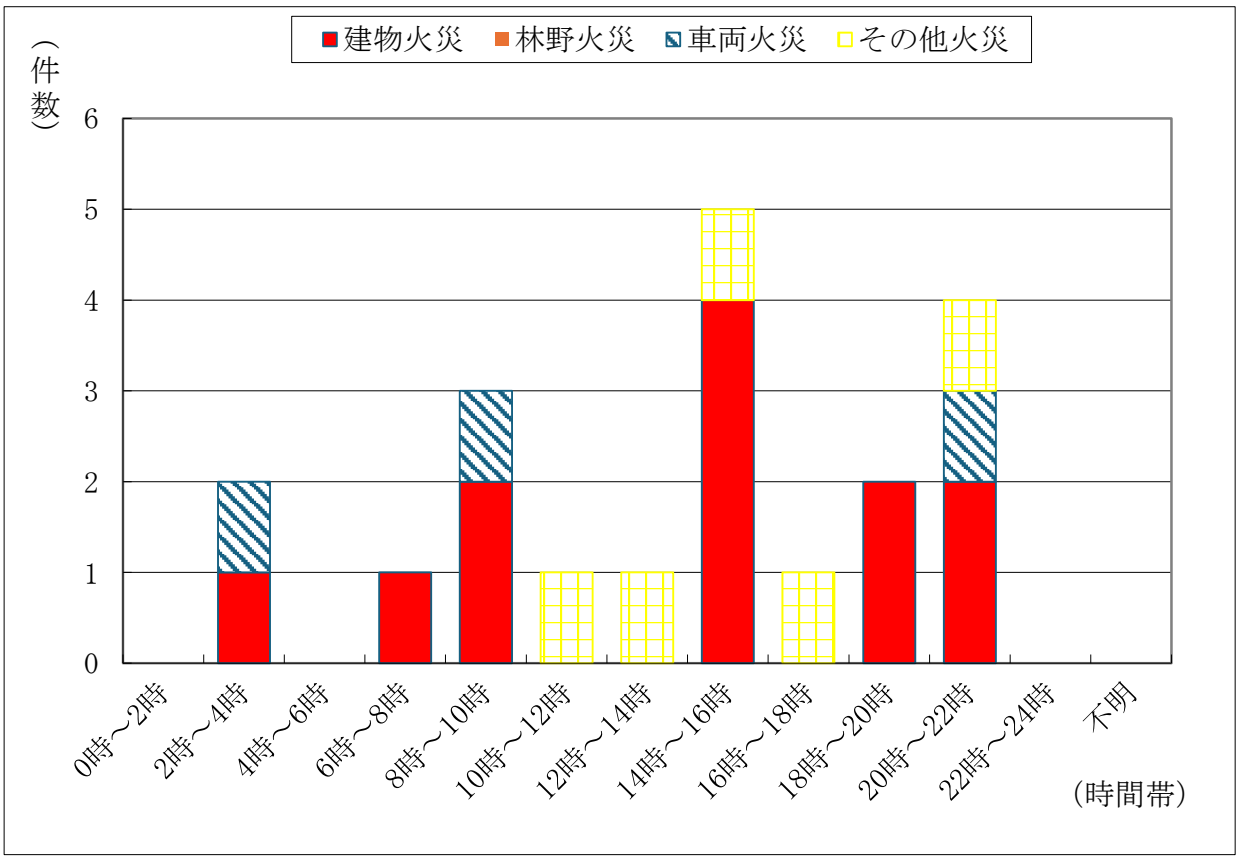
区　分 火災種別	出火件数（件）	構成比（%）	損害額 (千円)	割　合　（%）
建　物　火　災	12	60	87,592	97
林　野　火　災				
車　両　火　災	3	15	1,994	2
そ　の　他　火　災	5	25	370	
合　　計	20	100	89,956	100

（６）　覚知方法別出火件数

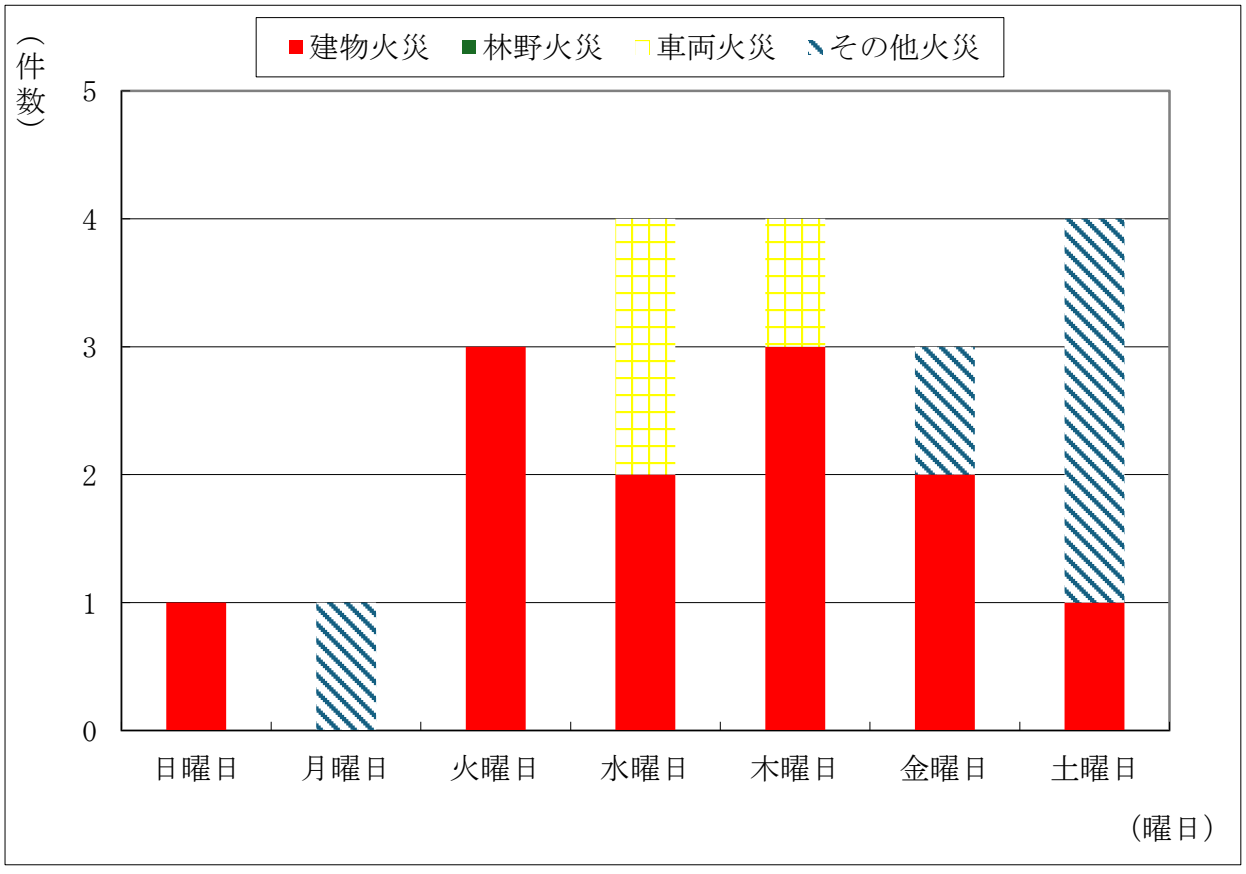
区分　　覚知方法別	出火件数（件）	構成比（%）
火災報知専用電話 固定電話から（ＮＴＴ加入電話を除く）	3	15%
火災報知専用電話固定電話から（ＮＴＴ加入電話）	1	5%
火災報知専用電話携帯電話から	10	50%
加入電話（固定電話から）		
加入電話（携帯電話から）	1	5%
警察電話		
駆けつけ通報		
事後聞知	5	25%
その他		
合　　計	20	100%

第７号様式（第４条関係）

（７）　時間帯別出火件数



（８）　曜日別出火件数



２　その他災害統計

（１）　その他災害種別の件数

種　　類	令和8年上半期	令和7年上半期	増減（△印減）
交　通　災　害	5	6	△ 1
水　難　災　害			
自　然　災　害	1		1
機　械　災　害			
危　険　物　災　害	2	5	△ 3
建　物　等　災　害			
ガス及び酸欠災害	1	1	
爆　発　災　害			
そ　の　他　災　害			
計	9	12	△ 3

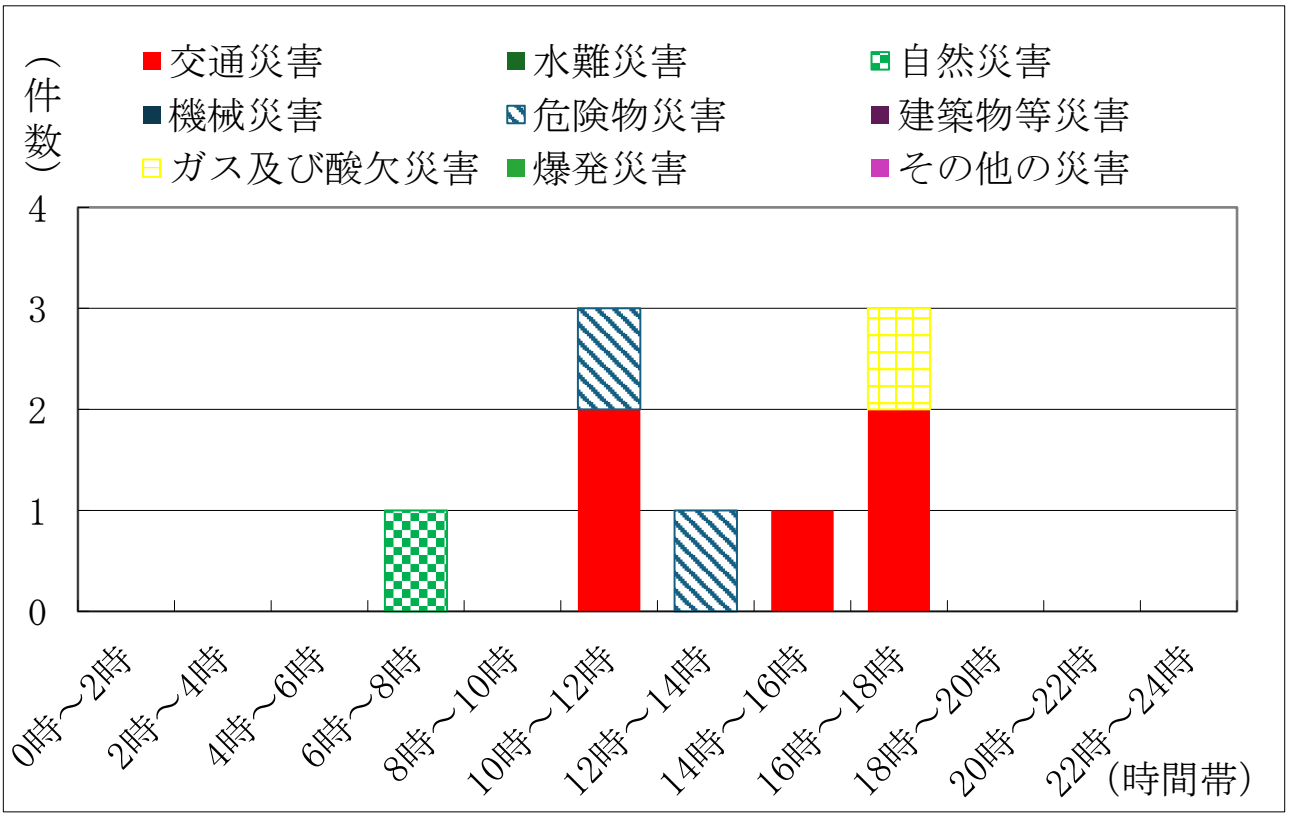
（２）　市町別その他災害種別の件数

種　　類	向日市	長岡京市	大山崎町
交　通　災　害	3	1	1
水　難　災　害			
自　然　災　害		1	
機　械　災　害			
危　険　物　災　害	2		
建　物　等　災　害			
ガス及び酸欠災害	1		
爆　発　災　害			
そ　の　他　災　害			
計	6	2	1

（３）　覚知方法別件数

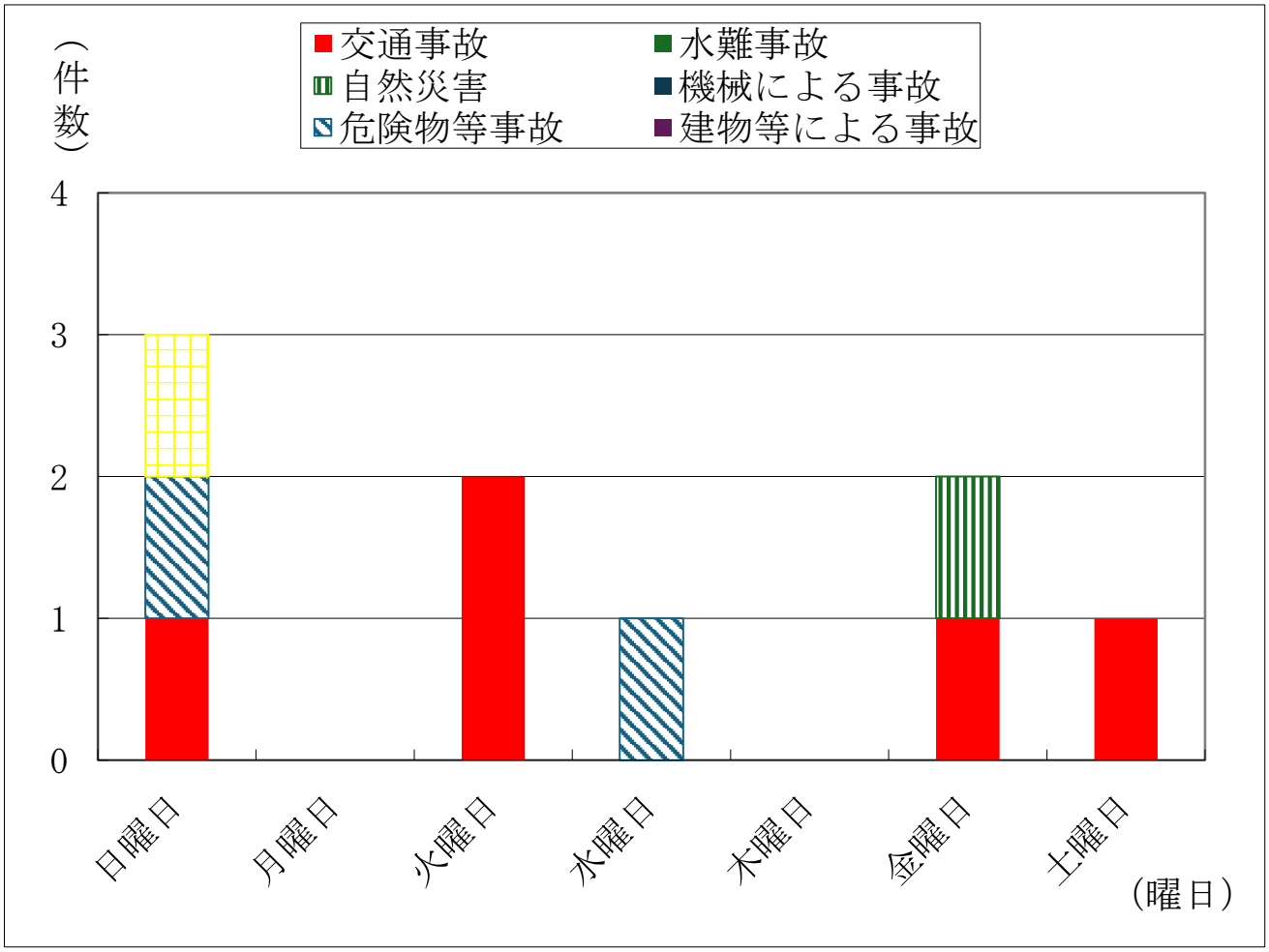
区分 / 覚知方法別	発生件数（件）	構成比（%）
火災報知専用電話（固定電話から（ＮＴＴ加入電話を除く）	1	11.1%
火災報知専用電話（固定電話から（ＮＴＴ加入電話）		
火災報知専用電話（携帯電話から	4	44.4%
加入電話（固定電話から）	2	22.2%
加入電話（携帯電話から）		
警察電話		
駆けつけ通報		
事後聞知		
自己覚知		
その他	2	22.2%
合計	9	100%

（４）　時間帯別件数



※発生時間不明は除く

（５）　曜日別件数


（件数）
交通事故
水難事故
自然災害
機械による事故
危険物等事故
建物等による事故
4
3
2
1
0
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
（曜日）

3　救助統計

(1)　事故種別出場件数及び活動件数

事故種別＼件数区分		令和8年上半期		令和7年上半期		増減（△印減）	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
火災	建物	4	4	4	4		
	建物以外						
交通事故		14 (2)	4 (0)	13 (1)	5 (1)	1 (1)	△ 1 △(1)
水難事故				1	1	△ 1	△ 1
風水害等自然災害							
機械による事故							
建物等による事故		16	16	17	16	△ 1	
ガス及び酸欠事故		1	1			1	1
爆発事故							
その他の事故		5	4	9	6	△ 4	△ 2
計		40 (2)	29 (0)	44 (1)	32 (1)	△ 4 (1)	△ 3 (△ 1)

※　（　）内は、高速道路救助出場件数を表す。

⑵　市町別出場件数

事故種別＼市町別		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	計
火災	建物		4			4
	建物以外					
交通事故		3	6	2	3 (2)	14 (2)
水難事故						
風水害等自然災害						
機械による事故						
建物等による事故		5	10	1		16
ガス及び酸欠事故		1				1
爆発事故						
その他の事故		1	3	1		5
計		10 (0)	23 (0)	4 (0)	3 (2)	40 (2)

※　（　）は、高速道路救助出場件数を表す。

⑶　事故種別救出人員

事故種別＼年別		救出人員		
		令和8年上半期	令和7年上半期	増減（△印減）
火災	建物	1	1	
	建物以外			
交通事故		4	5	△ 1
水難事故				
風水害等自然災害				
機械による事故				
建物等による事故		18	16	2
ガス及び酸欠事故		1	1	
爆発事故				
その他の事故		4	6	△ 2
計		28　(0)	29　(0)	△ 1

※　（　）は、高速道路救助出場における救出人員を表す。

⑷　発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所＼件数区分			令和8年上半期		令和7年上半期		増減（△印減）	
			出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
屋内	住居		18	18	23	21	△ 5	△ 3
屋内	その他の屋内							
屋外	道路	高速道路国道	2		1		1	
屋外	道路	その他の道路	7	4	12	5	△ 5	△ 1
屋外	水面	内水面			3	2	△ 3	△ 2
屋外	水面	外水面						
屋外	山岳		1		1	1		△ 1
屋外	その他の屋外		7	2	3	3	4	△ 1
地下								
その他			2	2	2	1		1
計			37	26	45	33	△ 8	△ 7

※　内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中（ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。）

※　外水面－上記以外の水上又は水中

4　救急統計

(1)　事故種別出場件数及び搬送人員

年別等	令和8年上半期		令和7年上半期		増減（△印減）	
件数等 / 事故種別	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火災	10 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	6 (0)	1 (0)
自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水難	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交通事故	264 (5)	257 (8)	240 (6)	227 (6)	24 (△ 1)	30 (2)
労働災害	27 (0)	27 (0)	24 (0)	26 (0)	3 (0)	1 (0)
運動競技	27 (0)	27 (0)	34 (0)	33 (0)	△ 7 (0)	△ 6 (0)
一般負傷	709 (0)	676 (0)	708 (0)	650 (0)	1 (0)	26 (0)
加害	10 (0)	9 (0)	17 (0)	15 (0)	△ 7 (0)	△ 6 (0)
自損行為	25 (0)	17 (0)	18 (0)	13 (0)	7 (0)	4 (0)
急病	2,550 (1)	2,406 (1)	2,669 (2)	2,472 (2)	△ 119 (△ 1)	△ 66 (△ 1)
その他	255 (1)	207 (0)	291 (1)	240 (0)	△ 36 (0)	△ 33 (0)
計	3,877 (7)	3,628 (9)	4,005 (9)	3,677 (8)	△ 128 (△ 2)	△ 49 (1)
一日平均件数	21.4	20.0	22.1	20.3	△ 0.7	△ 0.3

注 ： （ ）内は、「うち高速道路救急出場件数及び搬送人員」を表す。

⑵　年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別／年齢区分	急　病	交通事故	一般負傷	その他	計
新　生　児	3	0	0	0	3
乳　幼　児	146	10	58	3	217
少　　年	55	30	28	25	138
成　　人	642	130	88	105	965
高　齢　者	1,560	87	502	156	2,305
計	2,406	257	676	289	3,628

※　新生児：生後２８日未満
　　乳幼児：生後２８日以上満７歳未満
　　少　年：満７歳以上満１８歳未満
　　成　人：満１８歳以上満６５歳未満
　　高齢者：満６５歳以上

⑶　事故種別傷病程度別搬送人員

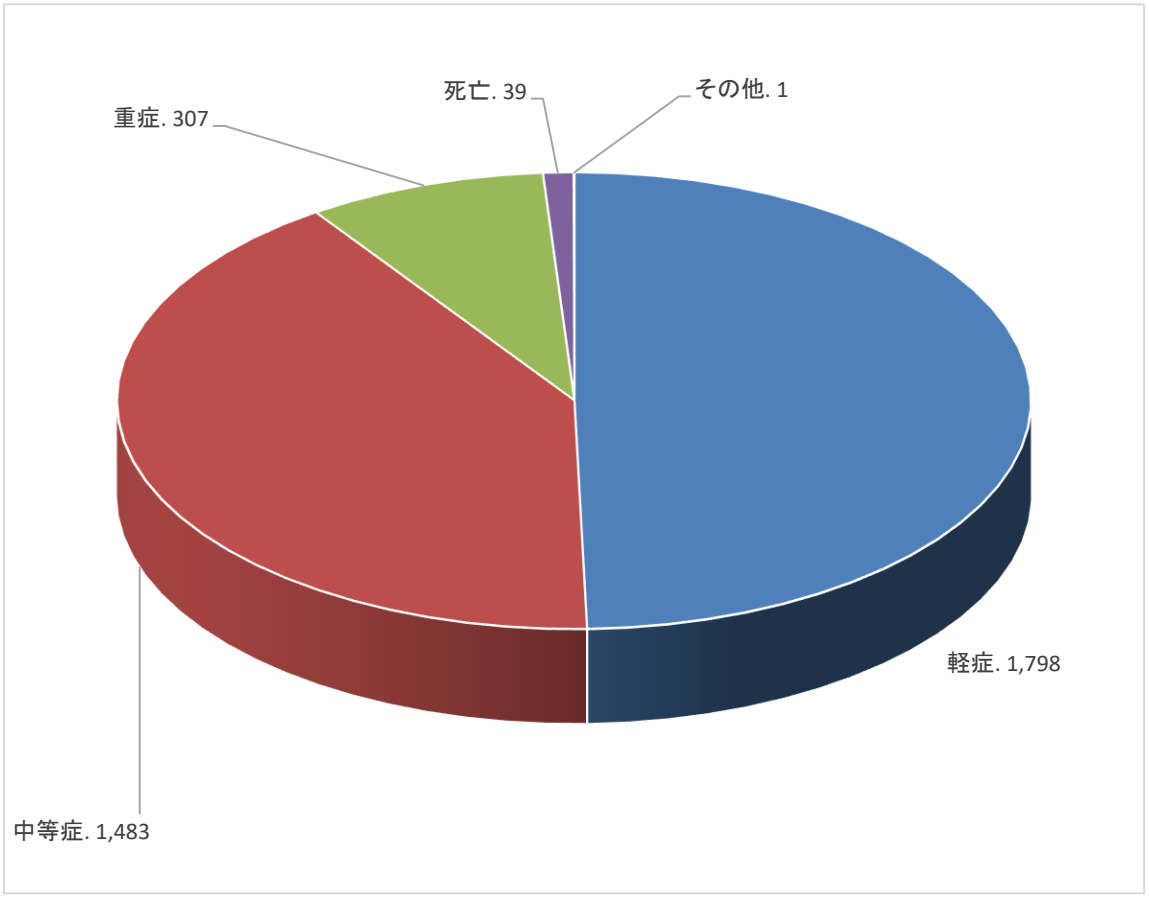
傷病程度／事故種別	死　亡	重　症	中等症	軽　症	その他	計
急　　病	37	196	1,045	1,127	1	2,406
交通事故	0	11	46	200	0	257
一般負傷	0	61	209	406	0	676
そ　の　他	2	39	183	65	0	289
計	39	307	1,483	1,798	1	3,628

※　死　亡：初診時において、死亡が確認されたもの
　　中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの
　　軽　症：傷病の程度が入院を必要としないもの
　　その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

⑷　年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 / 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	0	0	0	6	33	39
重症	0	1	1	46	259	307
中等症	3	48	28	276	1,128	1,483
軽症	0	168	109	637	884	1,798
その他	0	0	0	0	1	1
計	3	217	138	965	2,305	3,628

⑸　傷病程度別搬送人員



(6)　市町別出場件数

地域名＼事故種別		急　病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日市	8年	1,004 (0)	111 (0)	258 (0)	92 (0)	1,465 (0)
	7年	974 (0)	89 (0)	258 (0)	93 (0)	1,414 (0)
増減（△印減）		30 (0)	22 (0)	0 (0)	△ 1 (0)	51 (0)
長岡京市	8年	1,288 (0)	122 (0)	379 (0)	227 (0)	2,016 (0)
	7年	1,437 (0)	111 (1)	384 (0)	272 (1)	2,204 (2)
増減（△印減）		△ 149 (0)	11 (△ 1)	△ 5 (0)	△ 45 (△ 1)	△ 188 (△ 2)
大山崎町	8年	249 (0)	21 (2)	66 (0)	32 (0)	368 (2)
	7年	254 (1)	30 (4)	64 (0)	21 (0)	369 (5)
増減（△印減）		△ 5 (△ 1)	△ 9 (△ 2)	2 (0)	11 (0)	△ 1 (△ 3)
京都市	8年	8 (0)	7 (0)	6 (0)	3 (1)	24 (1)
	7年	2 (0)	7 (0)	2 (0)	2 (0)	13 (0)
増減（△印減）		6 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (1)	11 (1)
島本町	8年	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	7年	2 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)
増減（△印減）		△ 1 (0)	△ 2 (0)	0 (0)	0 (0)	△ 3 (0)
その他	8年	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	7年	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
増減（△印減）		0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
合計	8年	2,550 (1)	264 (5)	709 (0)	354 (1)	3,877 (7)
	7年	2,669 (2)	240 (6)	708 (0)	388 (1)	4,005 (9)
増減（△印減）		△ 119 (△ 1)	24 (△ 1)	1 (0)	△ 34 (0)	△ 128 (△ 2)

⑺　消防署別出場件数

事故種別 / 消防署名		急　病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日消防署	８年	864	87	228	103	1,282
	７年	887	70	237	108	1,302
増減（△印減）		△ 23	17	△ 9	△ 5	△ 20
長岡京消防署	８年	829	76	251	116	1,272
	７年	893	54	221	140	1,308
増　減　（　△　印　減　）		△ 64	22	30	△ 24	△ 36
東　分　署	８年	448	62	122	44	676
	７年	449	69	138	51	707
増　減　（　△　印　減　）		△ 1	△ 7	△ 16	△ 7	△ 31
大山崎消防署	８年	409	39	108	91	647
	７年	440	47	112	89	688
増　減　（　△　印　減　）		△ 31	△ 8	△ 4	2	△ 41
合　計	８年	2,550	264	709	354	3,877
	７年	2,669	240	708	388	4,005
増　減　（　△　印　減　）		△ 119	24	1	△ 34	△ 128

⑻　救急隊員が行った応急処置状況

事故種別 / 応急処置対象人員 / 処置事項	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	2,406	257	676	289	3,628
止血	20	8	51	7	86
固定	2	48	23	20	93
人工呼吸	15	0	1	4	20
心マッサージ	0	0	0	0	0
心肺蘇生	68	1	2	5	76
酸素吸入	386	11	23	76	496
気道確保	94	1	4	10	109
経鼻エアウェイ	3	0	0	0	3
喉頭鏡、鉗子等	0	0	0	0	0
ラリンゲアルマスク等	13	0	0	1	14
気管挿管	4	0	0	2	6
保温	81	2	13	18	114
被覆	5	43	131	11	190
在宅医療	50	0	2	6	58
除細動	7	0	0	0	7
静脈路確保	32	1	1	4	38
薬剤投与	20	0	1	3	24
ブドウ糖投与	6	0	0	0	6
その他の応急処置	2,391	257	670	285	3,603
血圧測定	2,280	252	646	281	3,459
血中酸素飽和度測定	2,336	255	671	285	3,547
心電図測定	736	10	46	55	847
計	9,406	957	2,412	1,138	13,913

注：一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。